

日本行動計量学会第34回大会 プログラム



ἡ ἀλήθεια ἐλευθερώσει ὑμᾶς
真理は、あなたがたに自由を得させるであろう。

ヨハネ 8:32

会期：2006年9月11日（月）、12日（火）、13日（水）、14日（木）

会場：聖学院大学 〒362-8585 埼玉県上尾市戸崎 1-1

大会実行委員長：丸山久美子（聖学院大学人間福祉学部）

会員の皆様へ

日本行動計量学会第 34 回大会を下記の要領で開催いたします。

是非ご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。

◆期日：2006 年 9 月 11 日（月） チュートリアル・セミナー

2006 年 9 月 12 日（火）、13 日（水）、14 日（木）

◆会場：聖学院大学 上尾キャンパス

◆大会参加費：

◇事前振り込み

正会員：5,500 円

準会員：3,500 円

賛助会員：5,500 円

非会員：7,000 円

◇当日支払い

正会員：6,000 円

準会員：4,000 円

賛助会員：6,000 円

非会員：7,500 円

◆懇親会：

◇日時

2006 年 9 月 13 日 16 時 45 分～

◇会場

聖学院大学ヴェリタス館 2F カフェ

◇会費

事前振り込み：4,000 円

当日支払い：5,000 円

◆抄録集購入：

抄録集代：3,000 円

送付をご希望の場合、送料として +500 円（8 月 10 日以降のお申し込みのみ）

購入方法：事前予約・振込（2006 年 8 月 31 日まで）または当日会場販売

◆申し込み方法：

日本行動計量学会第 34 回大会ホームページ上のフォーム、または、第 1 号通信と同封した専用申し込みハガキをご利用下さい。

いずれの申し込みも 2006 年 8 月 31 日締め切りとさせていただきます。

◆振り込み先（郵便振替）

口座番号：00150 - 0 - 446104

加入者名：日本行動計量学会第 34 回大会実行委員会

※いずれも 2006 年 9 月 1 日以降の振り込みは不可、以降は当日会場受付

発表者の皆様へ

- 1) 各演題の発表時間は、質疑応答を含め原則として 20 分です。
- 2) 特別セッションの発表時間は、座長の裁量により多少変更される可能性があります。発表前に各自座長にご確認下さい。
- 3) 大学側でご用意できる発表用の PC は Windows のみとなります。発表には液晶プロジェクターが利用できます。
- 4) 発表データは Microsoft Power Point での作成を推奨します。それ以外のファイル形式には対応できない場合があります。
- 5) 発表用の資料は、原則として抄録集に掲載されたものとします。補足資料を利用する場合は、配布用プリント約 30 部をご持参下さい。
- 6) 発表予定時刻の 30 分前までに、発表者の方がご自身で受付を行って下さい。

受付時間について

◇ 12 日、13 日、14 日

受付開始時間 ： 9 時

連絡先

◆日本行動計量学会第 34 回大会への問い合わせ、申し込みなどに関する連絡先

日本行動計量学会第 34 回大会事務局

〒362-8585

埼玉県上尾市戸崎 1-1

聖学院大学人間福祉学科 丸山研究室

信永 理美

Mail : bsj-all@seigakuin-univ.ac.jp

★今大会に関する最新の情報は、下記のウェブページにてご確認ください。

Web : <http://www.seigakuin.jp/event/bsj/>

行動計量学会チュートリアル・セミナー

「統計フリーソフト R 言語による分散分析・多変量解析」

- ◆日時：2006年9月11日（月）日本行動計量学会第34回大会1日目
13時～17時
- ◆会場：聖学院大学 上尾キャンパス
- ◆講師：渡辺利夫（慶應義塾大学）
- ◆参加費：
学生（会員・非会員とも）：2,000円
会員（一般）：3,000円
非会員：6,000円
- ◆定員：先着50名（実習形式のため）
- ◆申し込み方法：
メールまたはFaxにて下記内容をお送り下さい。

お名前：
ふりがな：
御所属：
連絡先（電子メール等）：
学生・会員・非会員の区別：

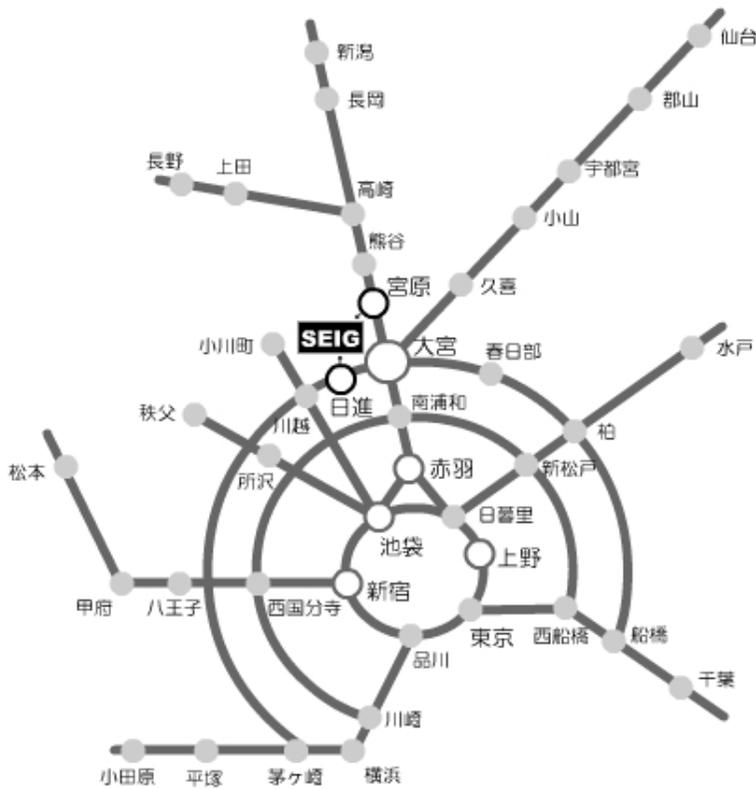
《留意事項》

- 1) ノートPCを使用しての実習形式で行いますので、ノートパソコンをご持参下さい。
- 2) フリーソフト“R”および関連ファイルを予めダウンロード・インストールしておいて下さい。ファイルのダウンロード・インストールにつきましては後日お申し込みいただいた方にご連絡いたします。

- ◆チュートリアル・セミナーに関する連絡先
大森拓哉（多摩大学）
Mail：ohmori@tama.ac.jp
FAX：042-337-7103

大会会場について

聖学院大学 上尾キャンパス



最寄り駅は JR 高崎線宮原駅/JR 埼京・川越線日進駅。埼玉県のほぼ中央に位置する「大宮」から 1 駅で、どちらの駅からも徒歩約 15 分です。新宿、池袋、上野、渋谷など主要ターミナル駅から乗り換えなしでご来場いただけます。

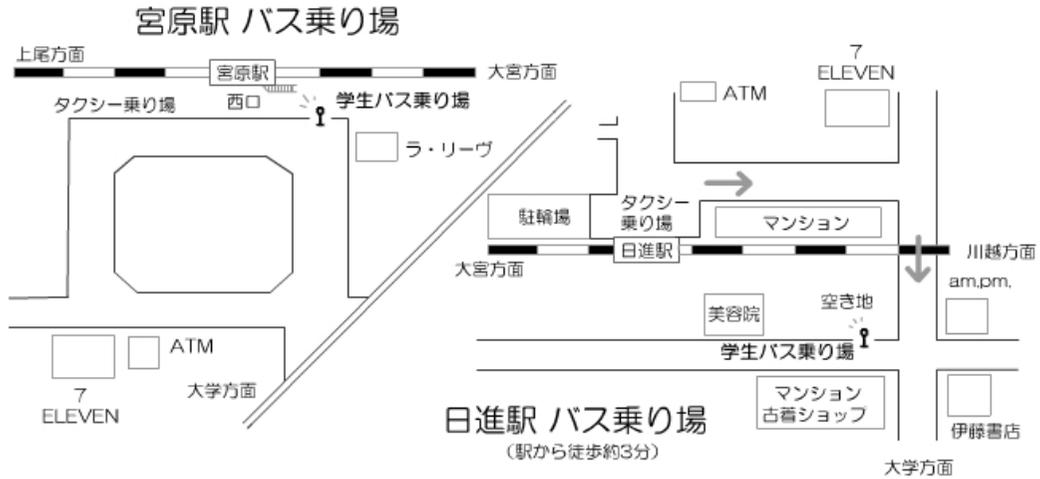
お願い

- 1) 会期中、会場内では常に参加証をお付け下さい。
- 2) 会員の方は当プログラムをご持参下さい。
また、非会員の方には当日会場にて販売いたします。
- 3) 駐車スペースが限られているため、お車でのご来場は原則としてご遠慮下さい。
- 4) 大学キャンパス内は禁煙となっております。喫煙の際は指定の喫煙所をご利用下さい。

ご案内

- 1) 昼食には大学の食堂をご利用いただけます。
- 2) 宮原駅西口・日進駅から徒歩 3 分のバス停～大学間の学生バスが常時発着しています。大会開催期間中は無料開放されますのでご利用下さい。

学生バス情報



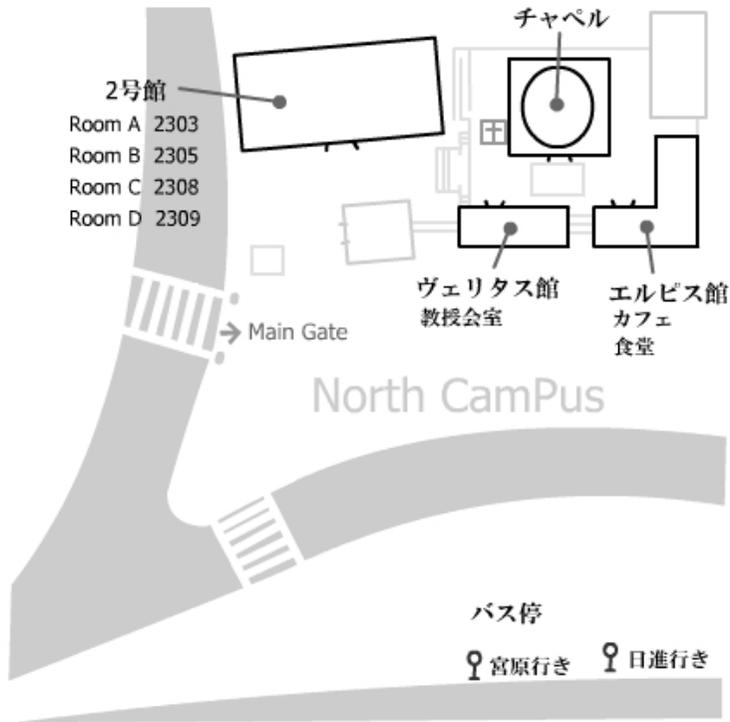
時刻表

※バスの時刻は変更になる場合があります。最新の情報は大学ホームページでご確認下さい。

宮原→大学							日進→大学				
8時	00	08	15	25	35	47	8時	03	20	35*	宮原→大学
9時	05	20	30	40	50		9時	▼25	45		始発=8:00
10時	▲03	05	●15	30	45	●48	10時	05	25	45	最終=19:43
11時	00	■15	■45				11時	25	50		
12時	15	30	45				12時	10	40		日進→大学
13時	00	15	30				13時	05	25	50	始発=8:03
14時	00	30	45				14時	10	43		最終=19:48
15時	00	15	30	45			15時	05	25	50	
16時	00	15	30				16時	10	30	50	▼=日進→宮原→大学
17時	00	20	35	55			17時	15	35	55	■=宮原→日進→大学
18時	■05	20	35	50			18時	10	33		▲=月曜日のみ運行
19時	■10	■43					19時	15	48		●=火～金曜日のみ運行

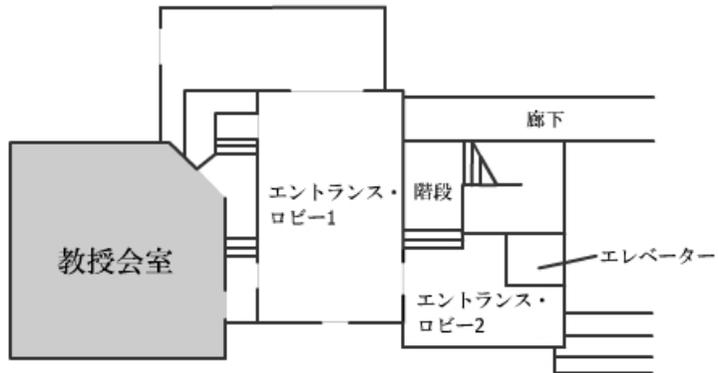
大学→宮原					大学→日進						
9時	00	20	35	▲50	9時	17	56	大学→宮原			
10時	●05	15	▲30	▲45	10時	15	35	始発=9:00			
11時	■00	■35			11時	■00	■35	最終=21:40			
12時	00	15	30	45	12時	00	30	55			
13時	00	15	45		13時	15	40		大学→日進		
14時	15	30	45		14時	00	32	55	始発=9:17		
15時	00	15	30	●45 ▲50	15時	17	40		最終=21:40		
16時	●00	▲05	15	30	45	●48	16時	00	20	40	
17時	05	15	30	50	17時	05	25	45	■=大学→宮原→日進		
18時	■00	15	30	45	18時	■00	25		(宮原行きのバス停から発車)		
19時	■05	■38			19時	■05	■38		▼=大学→日進→宮原		
20時	■10	■40			20時	■10	■40		▲=月曜日のみ運行		
21時	■07	▼40			21時	■07	▼40		●=火～金曜日のみ運行		

会場マップ



ヴェリタス館1F

チャペル側



9月11日(月)

13:00~17:00

教授会室

日本行動計量学会 チュートリアル・セミナー

統計フリーソフトR言語による分散分析・多変量解析

渡辺利夫(慶應義塾大学)

9月12日(火)

10:00~11:45

Room A 特別セッション 栄養教育における行動計量学的接近と評価

オーガナイザー・司会:山岡和枝(国立保健医療科学院)

1. 一般診療所における栄養教育の標準化への行動計量学的接近
中田恵津子(神奈川県保健福祉部) 寺沢康子(栄養サポートネットワーク相模原)
金子伸子(厚木中町クリニック) 安達美佐(国立保健医療科学院)
 2. 栄養教育の実践のための栄養情報のニーズに関する検討
安達美佐・山岡和枝(国立保健医療科学院)
 3. 女子中高生を対象とした食育のための食行動の問題点の検討
平塚伸子・玉井頌子(昭和女子大学付属昭和高等学校)
渡辺満利子(昭和女子大学大学院)山岡和枝・丹後俊郎(国立保健医療科学院)
 4. 食行動の問題点の検討:心理学的側面と食行動での親子の共通性
可知悠子(東京大学医学系大学院) 渡辺満利子(昭和女子大学大学院)
平塚伸子(昭和女子大学付属昭和高等学校) 山岡和枝・丹後俊郎(国立保健医療科学院)
 5. EVNに基づく高脂血症のための効果的食教育のモデル化:研究デザインとベースライン調査結果
渡辺満利子(昭和女子大学大学院) 横塚昌子・阿部直美・吉田友佳(昭和女子大学短期大学部)
山岡和枝・丹後俊郎(国立保健医療科学院)
- ◇ 指定討論
久保武士(龍ヶ崎済生会病院) 丸山久美子(聖学院大学)

Room B 特別セッション アクションに繋がる統計教育カリキュラム

~国際比較にみる達成目標と評価のガイドライン~

オーガナイザー:二宮智子(玉川大学)

司会:山口和範(立教大学)

1. The ASA Project GAISE: Guidelines for Assessment and Instruction in Statistics Education
Jessica Utts (University Of California, Davis)
2. 学力に関する国際調査 PISA、TIMSS にみる日本の小・中・高校生の現状と課題
—統計的な内容を中心に—
瀬沼花子(国立教育政策研究所)

3. 世界の初等・中等統計教育カリキュラム II ～シンガポールの習熟度別クラスの導入と達成目標・内容～
二宮智子(玉川大学)
4. 世界の初等・中等統計教育カリキュラム I ～イギリス・ニュージーランドのレベルの導入と達成目標・内容～
深澤弘美(東京医療保険大学)
5. 統計的な思考力育成のための今後の課題
藤井良宜(宮崎大学)

◇ 指定討論

岩坪秀一(早稲田大学人間科学院) 瀬尾隆(東京理科大学)

Room C 一般セッション 教育

司会: 菊地賢一(東邦大学)

1. 汎用的コンピュータ適応型テストシステムの開発と算数・数学テストへの応用
菊地賢一(東邦大学) 松宮功(京都府乙訓教育局)
2. 大規模テストデータの簡易集計と視覚化のためのツール
大津起夫(大学入試センター)
3. 多値項目反応モデルにより推定された特性値の簡便推定法について
荒井清佳・前川眞一(東京工業大学大学院)
4. 混合分布で構成される項目特性曲線を持つ IRT の提案
森丈治・宮本友介(大阪大学大学院)
5. テストレットを含む適応型テスト
大森拓哉(多摩大学) 繁榎算男(東京大学大学院)

Room D 一般セッション 数学・統計 I

司会: 小笠原春彦(小樽商科大学)

1. Asymptotic expansion and asymptotic robustness
of the normal-theory estimators in the random regression model
小笠原春彦(小樽商科大学)
2. 三相データの同時プロクラステス分析
—ソース別主成分分析の成分得点と負荷の同時変換—
足立浩平(大阪大学)
3. 選好データ分析のためのマッピング方法の提案
今泉忠(多摩大学)
4. 外れ値を含むデータにおける SVM 判別
梅原武志・狩野裕(大阪大学大学院)
5. 心理学研究における効果量とその信頼区間
井上俊哉(東京家政大学) 孫媛(国立情報学研究所)

9月12日(火)

11:55~12:55

チャペル

特別講演

行動計量学と人間教育

梶田 叡一(兵庫教育大学学長)

司会:岩坪秀一(早稲田大学)

9月12日(火)

14:05~15:50

Room A 特別セッション 戦後60年、日本語の社会調査

オーガナイザー・司会:米田正人(国立国語研究所) 吉野諒三(統計数理研究所)

1. 日本人の読み書き能力調査:その調査史上の位置と意義
高橋正樹(朝倉書店) 森本栄一(ビデオリサーチ)
2. 鶴岡市における共通語化の調査—3回の継続調査とパネル調査—
米田正人(国立国語研究所)
3. 世界28カ国(地域)における日本語観国際センサス
梁敏鎬(東北大学大学院) 米田正人(国立国語研究所)
4. 外来語の定着度
田中牧郎(国立国語研究所)

Room B 特別セッション マーケティング (前半)

オーガナイザー・司会:朝野熙彦(首都大学東京)

1. デザイン開発のための調査分析法
朝野熙彦(首都大学東京)
2. デザインコンセプトの策定手法
井上勝雄(広島国際大学) 広川美津雄(東海大学)
3. デザイン視点での新商品開発~構造方程式モデリングを用いたデザインの好みの検討~
小代禎彦(東陶機器)
4. 消費者行動を考慮した製品デザイン
奥瀬喜之(専修大学)
5. INDESCALを用いた百貨店におけるレイアウトデザイン
中山厚穂(立教大学) 鶴見裕之(立教大学大学院)
6. チャットを利用したweb評価グリッド法~食パンの買いたさ評価構造の探索~
山川義介(インタースコープ) 芳賀麻誉美(女子栄養大学)
7. 若年献血者増加のためのマーケティング
田久浩志(中部学院大学) 岩本晋(徳山大学)
8. 大学に対する満足度調査の質的・量的分析
河野康成(立教大学リーダーシップ研究所) 小木しのぶ(数理システム)

Room C 一般セッション 心理I

司会:丸山久美子(聖学院大学)

1. 青年の実存的痛みに関する時系列的研究
丸山久美子・木下玄太(聖学院大学) 加藤淳(葛西循環器脳神経外科病院)
2. あいまい性を考慮した印象形成の研究
—所持ブランドが人物の印象形成に及ぼす効果のフェジ回帰分析—
高階勇人・小野講介(早稲田大学大学院) 竹村和久(早稲田大学文学学術院)
3. 味覚の総合評価を決定する諸要因について
谷伊織・亀田研・村上隆(名古屋大学大学院)
4. 独立成分分析によるライフパタンの抽出
宮本友介(大阪大学大学院)

Room D 一般セッション ベイズ

司会:岡本安晴(日本女子大学)

1. SDT データのベイズ的分析 評定データの MCMC による分析
岡本安晴(日本女子大学)
2. ベイズ推定の金融実務への活用
安田裕司(三菱東京 UFJ 銀行)
3. 構造方程式モデリングにおいて非正規な誤差変数が存在する場合のベイズ推定
星野崇宏(東京大学)
4. 割り当てが無作為でない場合の多群構造方程式モデルと MCEM アルゴリズムを用いた推定法の提案
宮崎慧・繁榊算男(東京大学大学院) 星野崇宏(東京大学)
5. ベイジアンネットワークの予測分布の漸近解析とソフトへの実装
植野真臣(電気通信大学大学院)

Room A 教授会室 一脳波と行動一

オーガナイザー・司会:船田真理子(白鷗大学)

1. 連想文字想起課題による事象関連電位の表現と想起文字推定に関する研究
船田真理子・渋川美紀(白鷗大学) 船田忠(立教大学) 二宮理憲(青山学院大学)
2. 位相判定課題の難度に関する事象関連電位の指標を用いた定量的評価
渋川美紀・船田真理子(白鷗大学) 二宮理憲(青山学院大学)
3. 商品のパッケージの「色」・「形状」・「色と形状の組み合わせ」を用いた人の嗜好の客観的評価
—茶系飲料について脳波を活用して—
赤嶺高子・船田真理子・渋川美紀(白鷗大学) 船田忠(立教大学) 二宮理憲(青山学院大学)
4. 商品選択に対する CM の効果の脳波を用いた解析
野澤文皓・赤嶺高子・船田真理子・渋川美紀(白鷗大学)
船田忠(立教大学) 二宮理憲(青山学院大学)
5. 単調学習における共同学習の効果に関する研究
塩野浩史・藤波英也・船田真理子・渋川美紀(白鷗大学)
6. 脳波を用いたバーチャル空間への数字入力に関する研究
船田忠(立教大学) 船田真理子・渋川美紀(白鷗大学) 二宮理憲(青山学院大学)

◇ 指定討論

二宮理憲(青山学院大学) 中村洋一(茨城県立医療大学)

9月12日(火)

16:00~18:00

Room B 特別セッション マーケティング (後半)

Room C 特別セッション データ分析は科学か、それともアート(技術)か?

オーガナイザー:木村通治(埼玉短期大学)

司会:丸山久美子(聖学院大学)

1. 哲学的考察

木村通治(埼玉短期大学)

2. フェセット理論の立場から

真鍋一史(関西学院大学)

3. 多変量解析編

狩野裕(大阪大学大学院)

4. ベイズ理論の立場から

繁榊算男(東京大学大学院)

5. 林知己夫の数量化の立場から

林文(東洋英和女学院大学)

6. SSA のデモンストレーション

栗田真樹(流通科学大学) 安永幸子(明治学院大学)

◇ 指定討論

木下富雄(国際高等研究所) 岡太彬訓(立教大学) 小島隆矢(建築研究所)

Room D 一般セッション 多変量解析I

司会:森裕一(岡山理科大学)

1. データ指向統計環境 DoSS@d におけるデータ収集・登録機能

森裕一(岡山理科大学) 山本義郎(東海大学) 宿久洋(同志社大学)

2. 大学教員における学生の学力低下意識に関する一考察

石井秀宗(東京大学大学院) 柳井晴夫(聖路加看護大学大学院)

3. 多変量解析による寿命と社会指標の関係のモデル化と検討

八木隆宏・稲田紘(兵庫県立大学大学院)

長倉俊明(大阪電気通信大学) 古川俊之(大阪医療センター)

4. セルフコントロール理論における性別の検討

植村菜穂子・宮本友介(大阪大学大学院)

5. 多属性意思決定における文脈効果と属性の相対的重視度

一魅力効果、類似性効果、妥協効果に関する検討一

都築誉史・松井博史(立教大学)

6. 多変量解析による寿命と社会指標の関係

長倉俊明・児玉崇(大阪電気通信大学) 八木隆宏(兵庫県立大学大学院)
古川俊之・大江洋介(大阪医療センター)

9月13日(水)

9:45~11:30

Room A 特別セッション 「生と死」の行動計量

オーガナイザー・司会:丸山久美子(聖学院大学)

1. がん患者のケアを担う看護師のストレスに関する研究

渡辺孝子(埼玉医科大学)

2. パストラルケアワーカーと協働する看護師の特性の調査

清水裕子(埼玉医科大学) 段坂廣子(聖母病院)

3. 日本の自殺統計と自死遺族統計

平山正実(聖学院大学大学院)

4. 自然災害被災者の「生と死」に関する態度

松井豊(筑波大学) 安藤清志(東洋大学社会学部) 福岡欣治(静岡文化芸術大学)

◇ 指定討論

松原望(上智大学) 村上隆(名古屋大学)

Room B 特別セッション 潜在変数分析の発展

オーガナイザー・司会:繁榎算男(東京大学大学院)

1. 潜在クラスを用いた「多次元」尺度構成法

前川眞一・大久保智哉(東京工業大学大学院)

2. 2-パラメータロジスティックモデルの解析的パラメータ推定

植野真臣(電気通信大学大学院)

3. n と p がともに大きい時の因子分析

繁榎算男(東京大学大学院) 松田いづみ(科学警察研究所)

4. Asymptotic expansions of the distributions of the least squares estimators
in factor analysis and structural equation modeling

小笠原春彦(小樽商科大学)

5. 大学入試センター試験科目別得点の非線形因子分析

大津起夫・橋本貴充・荘島宏二郎・石塚智一(大学入試センター)

Room C 一般セッション マイニング・ソフトウェア

司会:木村邦博(東北大学大学院)

1. 子育て意識の構造—自由回答データの計量分析—

長谷川聡美(秋田銀行) ○木村邦博(東北大学大学院)

2. 応答分解のための Excel ソフトウェアの提案

柴山忠雄(前所属:名古屋市工業研究所)

3. 回答時間測定を伴う Web 調査の可能性～Web レスポンスレイテンシー法～
芳賀麻誉美(女子栄養大学) 山川義介(インタースコープ)
4. Web によるグルーピング評価グリッド法の開発と利用～また見たい映画はどんな映画?～
芳賀麻誉美(女子栄養大学) 小野智弘(KDDI 研究所)

Room D 一般セッション 数学・統計II

司会:今泉忠(多摩大学)

1. 無視できない欠測のある分割表の解析
高井啓二・狩野裕(大阪大学大学院)
2. 単調な正規化変換とそれに基づく信頼区間の構成
紺谷幸弘・狩野裕(大阪大学大学院)
3. 確定評価に依る分布推定モデルの選択法
岸清武
4. 2相3元非対称近接度の多次元尺度構成法
岡太彬訓(立教大学) 今泉忠(多摩大学)
5. 多重コレスポネンス分析による日本の受刑者の社会観の分析
広田すみれ(武蔵工業大学) 岩男壽美子(慶應義塾大学)

9月13日(水)

11:40~12:30

チャペル

総会

9月13日(水)

13:30~14:30

チャペル

特別講演

多変量解析とともに半世紀

柳井 晴夫(聖路加看護大学大学院特任教授)

司会:繁樹算男(東京大学大学院)

Room A 特別セッション 社会調査の現実

オーガナイザー:岡太彬訓(立教大学)

オーガナイザー・司会:吉野諒三(統計数理研究所)

1. 社会学・社会調査における分類と多変量解析
岡太彬訓(立教大学)
2. 社会調査士資格制度と社会調査倫理
直井優(大阪大学)
3. 世論調査の今日的課題と対応
松田映二(朝日新聞社)
4. 調査結果の安定性の検討:健康感関連項目に見る比率と構造の分析
山岡和枝(国立保険医療科学院) 吉野諒三(統計数理研究所)
5. 標本抽出名簿がない場合の個人標本抽出 —東京都における実証的な調査を中心に—
鄭躍軍(総合地球環境学研究所) 吉野諒三(統計数理研究所)

Room B 一般セッション 社会問題

司会:柳原良造(マーケティング・サービス)

1. ごみ処理場近隣地域における鳥類と自然環境の関連性について
小田牧子・栗原孝次(岡山大学大学院)
2. 島根県認定農業者の経営に関する問題意識の定量的分析
澤田泰人(島根県農業技術センター) 安田晃・津本周作(島根大学)
3. 認定農業者の経営に関する課題認識の定量化
安田晃・津本周作(島根大学) 澤田泰人(島根県農業技術センター)
4. 中学校教員の校内移動と多忙性の研究
堀結華(広島市立伴中学校/広島大学大学院)
5. 輸送障害時の情報提供のあり方が経路選択に与える影響
山内香奈・藤浪浩平・土屋隆司・杉山陽一(鉄道総合技術研究所)
有澤理一郎・中川剛志(東日本旅客鉄道)

Room C 一般セッション 心理II

司会:真鍋一史(関西学院大学)

1. ファセットアプローチにもとづく国際比較調査のデータ解析
真鍋一史(関西学院大学)
2. コミュニティバスの利用に関する意識と行動の関連
篠木幹子・宇佐美誠二(岩手県立大学)
3. 現代日本青年の職業ガイダンスへの意識に関する一考察
山田麻有美(聖学院大学)
4. 多言語・多民族国家としてのシンガポールの分析
—東アジア価値観国際比較調査における信頼感を中心に—
松本渉(統計数理研究所)

Room D 一般セッション 多変量解析II

司会:林篤裕(大学入試センター)

1. B-スプライン基底を用いた非線形因子分析のパラメータ推定
山本倫生・宮本友介(大阪大学大学院)
2. 個人差を考慮した3点間角度による非類似性の空間表現
浅田優・宮本友介(大阪大学大学院)
3. 岡山市犯罪データの地理空間分析
大下祐樹(岡山大学大学院) 垂水共之(岡山大学)
4. 臨床検査値の参照範囲:その根拠と評価
丸尾和司・白旗慎吾(大阪大学大学院) 後藤昌司(医療統計研究会)
5. 計量的多次元展開法の新しい解法とその評価
久我尚子・前川眞一(東京工業大学大学院)

9月13日(水)

16:45~20:00

カフェ

懇親会

9月14日(木)

9:45~11:30

Room A 特別セッション 犯罪現象の行動計量2—マクロ・メゾ・ミクロの各視点から—

オーガナイザー:島田貴仁(科学警察研究所)

オーガナイザー・司会:横田賀英子(科学警察研究所)

1. 仮想市場評価法(CVM)による防犯対策の評価—小学生の日常生活と犯罪被害(4)—
島田貴仁・齊藤知範・井上泰伸・原田豊(科学警察研究所) 遠塚昌瑞(警視庁)
2. 非行の繰り返しに伴う罪種の特化—警察記録に基づく—考察
岡邊健(科学警察研究所)
3. テロ集団の行動一貫性に関する分析—ハイジャックを中心として—
横田賀英子・藤田悟郎・渡邊和美・和智妙子・星野真紀・佐藤敦司(科学警察研究所)
4. 時間的变化と個人差を考慮した虚偽検出検査反応解析
松田いづみ(科学警察研究所) 繁榊算男(東京大学大学院)

◇ 指定討論

山岡和枝(国立保健医療科学院) 超智啓太(法政大学)

Room B 特別セッション 言語の進化・変化と獲得

オーガナイザー:小林茂之(聖学院大学)

司会:清沢達夫(聖学院大学)

1. 日本語の助詞の獲得
磯部美和(慶應義塾大学)

2. 幼児エージェントモデルの構築と語彙学習課題への適用

篠原修二(豊橋技術科学大学)

3. 言語動力学によるクレオール化のシミュレーション

中村誠・橋本敬・東条敏(北陸先端科学技術大学院大学)

◇ 指定討論

野村泰幸(大阪外国語大学)

Room C 一般セッション 社会調査

司会:鈴木督久(日経リサーチ)

1. エリアサンプリング調査の再検討

鈴木督久(日経リサーチ)

2. エリアサンプリング調査における調査不能

朝倉真粧美(ビデオリサーチ) 木戸茂(日本マーケティング・リサーチ協会)

3. 自治体郵送調査の部分的無記入に関する事例研究

若山大樹(秋田県立大学)

4. 社会調査における社会的ジレンマの測定について:方法論的検討

海野道郎(東北大学大学院) 篠木幹子(岩手県立大学)

5. 交際の指標の妥当性についての分析

菅野剛(日本大学)

Room D 一般セッション 多変量解析III

司会:村上隆(名古屋大学大学院)

1. 基準化重み行列の直交回転による主成分の斜交プロクラステス回転とその拡張

村上隆(名古屋大学大学院)

2. 階層的線形モデルのための事後予測分布を利用したサンプルサイズ決定法

奥村太一(東京大学大学院)

3. A maximum likelihood method for asymmetric MDS(3)

佐部利真吾・千野直仁(愛知学院大学)

4. 単相 3 元クラスター分析

横山暁(慶應義塾大学大学院) 中山厚穂・岡太彬訓(立教大学)

5. 動作データを用いたパターニングスキルの評価

山本紗恵子・小方博之(成蹊大学) 河合岳(本田技研)

9月14日(木)

12:30~13:30

教授会室

特別講演

QOL研究の成果と課題—QOL研究会の歩みから—

萬代 隆(国立循環器病センター)

司会:丸山久美子(聖学院大学)

9月14日(木)

13:45~15:30

教授会室 特別セッション QOL研究の新しい方向

オーガナイザー・司会:丸山久美子(聖学院大学)

1. 介護保険制度における Quality of Life

木戸高志(大阪大学) 萬代隆(国立循環器病センター)

2. 子どもの QOL

小林美智子(長崎県立シーボルト大学)

3. 緩和ケアへの移行時期の検討:QOL 継続調査

宮崎貴久子・中山健夫(京都大学大学院) 林文(東洋英和女学院大学)

齋藤真理(横浜市立大学附属市民総合医療センター)

4. ホスピス・緩和ケア病棟のケアに対する評価尺度の開発

平井啓(大阪大学大学院)

5. 医療ソーシャルワークにおける、患者とその家族の QOL

加藤淳(葛西循環器脳神経外科病院)

◇ 指定討論

武藤正樹(国際医療福祉大学付属病院) 郡司篤晃(聖学院大学大学院)

Room B 特別セッション 日本におけるドイツイメージ

オーガナイザー:杉山明子(国際コミュニケーション・フロー研究プロジェクト)

司会:小野寺典子(NHK 放送文化研究センター)

1. 分析の概要と今後の課題

川竹和夫(国際コミュニケーション・フロー研究プロジェクト)

2. テレビ番組の内容分析から

杉山明子(日本社会調査士資格認定機構/国際コミュニケーション・フロー研究プロジェクト)

3. 新聞記事の内容分析から

福嶋美佐子(国際コミュニケーション・フロー研究プロジェクト)

4. Before-After の世論調査結果から

森本栄一(ビデオリサーチ/国際コミュニケーション・フロー研究プロジェクト)

◇ 指定討論

飽戸弘(東洋英和女学院大学) 松本正生(埼玉大学)

Room C 一般セッション 医学・スポーツ

司会:久保武士(龍ヶ崎済生会病院)

1. 月経周期の時期による正確性と速度の統計的差異に関する研究
笠松慶子(金沢工業大学) 鈴木哲(首都大学東京) 二宮理憲(青山学院大学)
2. サッカープレイにおける攻守パターン評価のためのモデル論的考え方
中村和男(長岡技術科学大学) 長島建二(フェニックスエンジニアリング)
3. 医学的に不適切と思われる救急車利用に影響を与える社会的要因
川上ちひろ・大重賢治・朽久保修(横浜市立大学大学院)
4. 新設中核病院に対して地域住民が抱くイメージ調査
久保武士・重光貞彦・文蔵克巳(龍ヶ崎済生会病院) 柳原良造(マーケティング・サービス)

賛助企業

本大会の開催にあたり、以下の企業からご支援を賜りました。

株式会社朝倉書店
株式会社アンド・ディ
株式会社インタースコープ
株式会社インターメディカ
株式会社北大路書房
株式会社現代数学社
SAS Institute Japan 株式会社
シミック株式会社
株式会社数理システム
株式会社曾束
有限会社竹伸商会
財団法人たばこ総合研究センター
株式会社電脳
株式会社日経リサーチ
財団法人日本統計協会
株式会社ビデオリサーチ
ブレーン出版株式会社
勉強出版株式会社
株式会社マーケティング・サービス
株式会社リサーチ・アンド・ディベロプメント

(50音順)

ありがとうございました。

日本行動計量学会第 34 回大会

主催：日本行動計量学会

共催：聖学院大学

日本分類学会

開催日：2006 年 9 月 11 日～14 日

開催校実行委員会

委員長 丸山久美子（聖学院大学）
副委員長 松本正生（埼玉大学）
委員 後藤兼一（聖学院大学）
清沢達夫（聖学院大学）
山田麻由美（聖学院大学）
永井理恵子（聖学院大学）
小林茂之（聖学院大学）
水嶋友昭（聖学院大学）
事務局 信永理美（聖学院大学）

プログラム委員会

顧問 岡太彬訓（立教大学）
★プログラム企画委員会
委員長 吉野諒三（統計数理研究所）
委員 城川美佳（東邦大学）
木村通治（埼玉短期大学）
西川浩昭
（日本赤十字豊田看護大学）
横田賀英子（科学警察研究所）
★プログラム作成委員会
委員長 林篤裕（大学入試センター）
委員 信永理美（聖学院大学）

日本行動計量学会第 34 回大会発表論文抄録集

2006 年 8 月 発行

〒362-8585

埼玉県上尾市戸崎 1-1

聖学院大学

人間福祉学部 人間福祉学科 丸山研究室内

日本行動計量学会第 34 回大会事務局

印刷：株式会社 国際文献印刷社